

## 2021年度第2回支部集会【北海道支部】開催報告

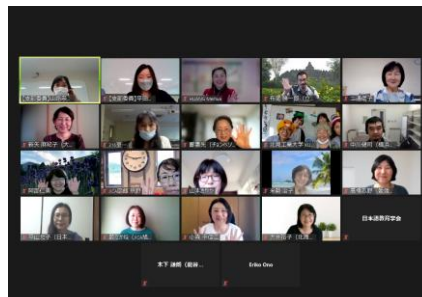
主催：公益社団法人日本語教育学会

開催日：2021年7月17日（土）13:00-16:35

会場：オンライン

参加者：103名（会員52名・一般51名）

2021年度第2回支部集会【北海道支部】を、7月17日（土）に、昨年度に引き続き Zoom を使用しオンラインで開催しました。昨年度は告知後すぐに事前参加申請が定員に達し、道内で参加を希望しながら叶わなかった方々がいらっしまったため、今年度は告知開始後1週間「北海道内優先」申し込み期間を設けました。そのため、今年度は道内の方々、特に各地域で日本語教室に関わっていらっしゃる方々が多く参加してくださいました。



第一部のシンポジウムでは、「北海道北から南まで！つながろう 地域の日本語支援」と題し、長年各地域で日本語学習・支援に取り組んでこられた北見市、江別市、東川町、函館市の4団体の方々のお話を伺いました。また、道内の日本語教室空白地域で日本語学習支援者の養成に関わる一般社団法人「北海道日本語センター」二通信子先生に、活動内容と北海道の地域日本語教育の現状についてお話いただきました。シンポジウムでは、札幌市と北見市の2か所から発表を配信、オンラインならではの距離を超えた形での開催となりました。



札幌会場（北海道大学）



北見会場（北見工業大学）

第2部の交流ひろばには6件の出展があり、北海道の現状から、やさしい日本語による外国人労働者支援、コーパス、授業改善、管理運営業務の見直し、そしてオンライン授業の検証など実に多様なテーマについて意見が交換されました。また、その後の懇親会では、第1部の登壇者の方も含めて、地域、所属の垣根を超えた交流の場を持つことができました。事後のアンケートでは、北海道の地域日本語教育について知る良い機会になったという声が多く寄せられた一方で、意見交換の時間の短さ、オンライン交流の難しさについてのご指摘もありました。来年度どのような形で支部集会を開くことができるのかまだ見通せませんが、今回の経験を活かしより良い形を模索していきたいと思えます。最後に、この場を借りて本支部活動にご参加くださった皆様、そして、本支部活動の開催のためにご協力くださった関係の皆さまに心より感謝申し上げます。

（報告者：支部活動委員 平田末季）